



国際子ども図書館 学校図書館セット貸出し 東南アジア・南アジアセット 中学校向 内容紹介

このセットに含まれる本の内容紹介です。
学校での本の紹介や展示、学校図書館での選書などにご利用下さい。
※外国語の本にある日本語タイトルは参考訳です。

1. ぞうのマハギリ : インドの民話

ケシャブ・シャンカール・ピライ 再話, プラク・ビスワス 絵
みやちとしこ 訳
グランまま社 2002 年

2. महागिरि (ヒンディー語)

লেখিকা, হেমলতা চিত্রাঙ্কন, পুলক বিশ্বাস অনুবাদ, নরেন্দ্র শর্মা
চিল্ড্রেন্স বুক ট্রাস্ট 1993 年

3. ಮಹಾಗಿರಿ (カンナダ語)

ಪುನಃ ಹೇಳಿದ ಒಂದು ಆನೆಯ ಕಥೆ, ಹೇಮಲತಾ ರೇಖಾಚಿತ್ರಗಳು, ಪುಲಕ್ ಬಿಶ್ವಾಸ್ ಅನುವಾದ, ಸೇತು ನಟರಾಜನ್
ಚಿಲ್ಡ್ರನ್ಸ್ ಬುಕ್ ಟ್ರಸ್ಟ್ 1993 年

インドの昔話絵本。普段は象使いに従順でとてもおとなしい象のマハギリが、ある日突然逆らい始める。けれども、それは小さな猫の命を救うためだった。再話はインドの神話、昔話、創作絵本、児童文学の普及に努めた高名な政治漫画家シャンカール、挿絵はシャンカールの弟子プラク・ビスワスによる。1965 年の初版以来、英語、ヒンディー語、カンナダ語、マラーティー語、タミル語など、インドの多くの言語で版を重ね、インドの古典絵本として親しまれている。

4. ねこのくにのおきやくさま

シビル・ウェッタシンハ さく, まつおかきょうこ やく
福音館書店 1996 年

5. බෙල් රටට ආ පුද්ගල අමුත්තෝ (シンハラ語)

කථාව සහ චිත්‍ර, සිබිල් වෙත්තසිංහ
සුරංගනී ස්වේච්ඡා ජේවිය 2003 年

6. பூனையர் நாட்டில் விசித்திர விருந்தினர் (タミル語)

கதையும் ஓவியங்களும், சிபில் வெத்தசிங்க மொழிபெயர்ப்பு, சரோஜனி தேவி அருணாசலம்
சுரங்கனி சுயேச்சை சேவைகள் 2003 年

働いてばかりで楽しむことを知らなかった猫たちの国に、ある日、船に乗って2人の不思議なお客がやってきた。2人は大きなお面をかぶり、太鼓に合わせて歌ったり踊ったりして、猫たちに音楽と踊りの楽しさを教えてくれる。猫たちが大喜びする中、猫の王様にお面を取るように言われたその2人の正体とは……。明るい色彩のスリランカの絵本。

7. 子どもに語るアジアの昔話 1

8. 子どもに語るアジアの昔話 2

松岡享子 訳
こぐま社 1997 年

アジア各地から採集した昔話集。アジア地域のユネスコ加盟国による共同出版事業として、1970 年代に出版された英訳本がもととなっており、挿絵は各地の画家たちの手による。第1巻は、知恵者でトラにもワニにも勝つことのできるシカが、ほんの小さなカタツムリに負けてしまう「りこうなシカ」(インドネシア) など 13 話、第2巻は、パニヤンの葉に小石を投げつけて模様をくりぬく技を持つ少年の話「小石投げの名人タオ・カム」(ラオス) など、14 話を収録。南アジアや中東(西アジア)の昔話も含まれている。

9. アジアと仏教（国際関係がよくわかる宗教の本 4）

池上彰 著

岩崎書店 2006 年

仏教は、南アジアから東南アジア・東アジアに広まり、現在約 4 億人の信者がいる。仏教の成立、伝播の様子、教義などをわかりやすく解説。また、同じバラモン教から生まれたヒンドゥー教、日本古来の神道や日本人の宗教観についても言及する。

10. インドの文字とヒンディー語（世界の文字と言葉入門 6）

町田和彦 監修, こどもくらぶ 著

小峰書店 2004 年

世界のさまざまな文字を紹介するシリーズの第 6 巻。最初にインドのお札の写真があり、金額表示だけでも 17 の言葉と 11 の文字が記されている。文字と言葉が違う人々が同じ国内で暮らすインドでは小学校から 3 言語を学ぶという。この本では、一番多く使われているインド系のナーガリー文字の 330 音図とその書き順、発音などを解説後に、ヒンディー語の日常会話を紹介している。ヒンディー語の発音が分かる。

11. タイの文字と言葉（世界の文字と言葉入門 5）

宇戸清治 監修, こどもくらぶ 著

小峰書店 2004 年

世界のさまざまな文字を紹介するシリーズの第 5 巻。紀元前 3 世紀頃にインドで使われていたブラーフミー文字から、ミャンマーのビルマ文字、ラオスのラオ文字、カンボジアのクメール文字、そしてタイのタイ文字が生まれた。独特な丸みを持つタイ文字の 50 音図（子音字 42 字）とその書き順、タイ文字を使った名前の綴り方などが紹介され、日本の子どもたちも気軽にタイ文字に親しむことができる。タイの文化・習慣についても簡単に触れている。

12. 古代インド：死者の丘とハラッパーから仏教とヒンドゥーの聖地へ

アニタ・ダラル 著, モニカ・L.スミス 監修, 小野田和子 訳

BL 出版 2014 年

インダス文明、その後のヴェーダ時代の文化、インドに残る仏教遺跡、マウリヤ朝と同時期の周辺勢力との交流、石窟群を遺したグプタ朝の文化を紹介。各章の冒頭に時代ごとの勢力図の入ったインドの地図と古代インドの年表、巻末に索引と参考文献あり。

13. 東南アジアを学ぼう：「メコン圏」入門

柿崎一郎 著

筑摩書房 2011 年

東南アジア 5 개국（ベトナム、ラオス、カンボジア、タイ、ミャンマー）と中国の 2 つの省（雲南省、広西壮族自治区）からなる経済圏「メコン圏」を旅しながら、この地域の国際的なネットワークが整備された経緯や変化を続ける現在の様子を解説する。巻末に主要参考文献あり。

14. 消えゆく太平洋戦争の戦跡

「消えゆく太平洋戦争の戦跡」編集委員会

山川出版社 2017 年

太平洋の島嶼部、東南アジア、日本国内などの戦跡をカラー写真で紹介。その戦場やそこで起きた戦闘について解説し、戦後から現在までその地が歩んだ歴史も紹介している。巻頭に太平洋戦争の戦場を示す地図、巻末に写真提供者一覧あり。

15. ラオス（ナショナルジオグラフィック世界の国）

A・カマラ・ダラル 著，マーティン・スチュワート＝フォックス，ビリアム・ブラサヤボン 監修
ほるぷ出版 2010 年

16. ベトナム（ナショナルジオグラフィック世界の国）

ジェン・グリーン 著，ピーター・ジノマン，ハイ・V・ルオン 監修
ほるぷ出版 2009 年

地理、自然、歴史、人と文化、政治と経済という章立てで各国を紹介するシリーズ。豊富なカラー写真に加え、コラムや図表も多用して分かりやすくまとめている。見返しにそれぞれの巻で扱う国の場所に色づけした世界地図あり。巻末にミニ情報、歴史年表、用語解説、索引あり。

17. 南アジアと中央アジアの音楽（国際理解に役立つ世界の民族音楽 3）

若林忠宏 監修，こどもくらぶ 編
ポプラ社 2003 年

世界各地の民族音楽を紹介するシリーズ全 6 巻のうちの第 3 巻。あまり見ることのないシタール、プーンギといった民族楽器の写真とともに、楽譜や歌詞も掲載されている。音楽に深く影響を及ぼしているその土地の風土や文化、歴史の解説も充実しており、それぞれの音楽が育まれてきた背景を知ることができる。

18. 結婚式を見てみよう（アジアの道案内 ベトナム）

谷阪千佳子 文・写真
玉川大学出版部 2018 年

ベトナムの 2 組の結婚式を紹介。招待された友人の結婚式では花嫁はドレス、花婿はスーツだったが、山間の少数民族の結婚式では伝統衣装をまとっていた。装いは違っていても、どちらの結婚式も先祖への報告の儀式と誓いから始まり、披露宴ではたくさんのごちそうがふるまわれ、親戚をはじめ大勢の人たちに祝福される。その様子を伝えるフォトエッセイ。

19. みんな大好き！カレー大百科 4（カレーで知る世界の国ぐに）

森枝卓士 監修
文研出版 2017 年

「インドと周辺国のカレー」、「東南アジアやヨーロッパのカレー」の二章で構成。インド国内でも地域によって材料などに大きな違いがあることや、各国がカレーを取り入れた際にその国に元々ある食文化と融合することで独自の発展を遂げたカレーを写真で紹介。インド風チキンカレーとタイ風グリーンカレーのレシピを掲載。

20. ミャンマー憧憬：祈り篤き人々の素顔（アジア民俗写真叢書 14）

加藤敬 写真・文，ドウ・キン・イー 文
平河出版社 1995 年

ミャンマーの歴史、民族、宗教、祭りなどについて紹介した写真集。巻末に解説があるが、文章はやや難しい。人々の信仰の対象である仏像や、祈る人々、遺跡や祭りの様子を写したたくさんの写真は、たくさんの言葉を費やすよりも、力強くミャンマーの人々の生活を感じさせる。

21. バリ島大百科

菅洋志 著
ティビーエス・ブリタニカ 2001 年

インドネシアのバリ島は、世界中から人々が訪れる観光地として有名だ。主にアジアを撮り続けてきた写真家が、南国らしい美しい色彩の、陰影がくっきりと出た風景をとらえ、また本国インドネシアやヒンドゥー教のルーツ・インドとも異なる、バリ島独自の「バリ・ヒンドゥー文化」の魅力を伝えている。

22. ゾウと巡る季節：ミャンマーの森に息づく巨獣と人びとの営み

大西信吾 著
彩流社 2010 年

ゾウの力を使って森林伐採を行うミャンマーの林業の様子を、豊富なカラー写真で紹介している。季節風の影響で雨が降り続ける雨季（5～8 月）、雨が降らず気温が下がってゆく涼季（9～1 月）、雨は降らないが気温は上がってゆく暑季（2～4 月）という季節の巡りに沿った章立てになっており、読み進めていくと日本の四季とは異なる現地の季節のリズムを知ることにもできる。

23. ぼくが歩いた東南アジア：島と海と森と

村井吉敬 著
コモンズ 2009 年

著者が 33 年間インドネシアを中心に東南アジアで撮影した写真の中から 326 枚を選び、撮影時の思いや写真の背景にある物語を綴ったフォトエッセイ。市場、農村、乗り物、国家など著者独自のテーマ別の 10 章構成になっている。表紙見返しに東南アジアの地図あり。

24. エベレスト：地球のてっぺんに立つ！

スティーブ・ジェンキンズ 作、佐藤見果夢 訳
評論社 2001 年

エベレストについて切り絵で説明した絵本。歴史・地理・気候、登山ルート、登山に必要な道具類、高山病や凍傷など高地に登る際に危険なことなどを分かりやすく解説している。

25. アジアの自然と文化 3（雑穀からみる東南アジア）

26. アジアの自然と文化 4（イモ・魚からみる東南アジア）

27. アジアの自然と文化 5（綿・家畜からみる南アジア）

28. アジアの自然と文化 6（香辛料からみる南アジア）

クリスチャン・ダニエルス 監修
小峰書店 2012 年（第 3 巻のみ）、2014 年（第 4～6 巻）

地域ごとの地形・気候などの自然条件とそこで行われる農耕牧畜、その作物を使う生活を紹介するシリーズ。第 3 巻はタイ・ラオス・ミャンマー等の雑穀（アワ、シコクビエ、ハトムギ、モロコシ等）について。第 4 巻はインドネシア・マレーシア・フィリピン等の島嶼部でとれるイモ類と魚食文化について。第 5 巻はインド・パキスタンの生活を支える畜産と綿工業について。第 6 巻はインド・バングラデシュの香辛料について。それぞれの巻で、対象となる地域の地形を示す地図が巻頭の見返しに、行政区分（国境線と州・省・管区の境界線）を示す地図が巻末の見返しにある。その他にも、巻末に索引、参考文献、教員や保護者などに向けた解説あり。

29. アジアの遊び 2

大貫美佐子 監修
ポプラ社 1998 年

東南・南・西アジアの国々 15 か国の子どもの遊びを収録した本。ラオスの植物の種を使ったおはじき遊びや日本でも知られるようになったインドのカバディなど、戸外、室内の遊びを掲載している。遊び方が国別に分かりやすく図示され、遊び歌には楽譜もついている。

30. ボルネオの熱帯雨林

横塚眞己人 著
福音館書店 2004 年

およそ 1 億年前にできたといわれるボルネオの熱帯雨林は、無数の生物を誕生させ、多様性に富んだ生態系を作ってきた。夜明けから刻々と表情を変えていくさまや、林冠（樹上）に暮らす多くの生物、70 メートルもの高さになる植物フタバガキなど、その生命の豊かさを美しい写真で伝える。

31. バングラデシュの顔

奥田恭子 著
文芸社 2017 年

6 回のバングラデシュ訪問を経て刊行された写真集。市街地、自然風景、交通、農作業、もの作りや商売、学校や子どもたち、現地の生き物など様々な写真が収められている。各写真には撮影年と月、短い解説文が付き、巻末にはバングラデシュの概要や教育、衛生状態、産業、撮影日記が簡潔にまとめられている。

32. ラオスの布を楽しむ

チャンタソン・インタヴォン 著
アートダイジェスト 2006 年

ラオスは 50 以上の民族からなる多民族国家であり、高い山や深い森に守られながら各民族が独自の文化を形成してきた。ラオスの変化に富んだ染織はこれの中で発達した。豊富な写真で伝統の布が紹介されており、各民族の衣装の特徴、織や刺繍の種類、染料、現代的な着こなし等を知ることができる。山岳地帯に住む人々の美しい衣装に目が惹きつけられる。

33. アジア動物探検記

飯島正広 著
福音館書店 2014 年

著者は 30 年以上にわたって世界の国々で野生動物を撮り続ける写真家。写真は国・地域ごとに紹介されている。それぞれ最初のページに国・地域の説明と、撮影場所を示した地図を掲載。見開きのページを全面に使い、写真とともに動物の生態を紹介している。巻末に紹介された動物の索引あり。

34. 一瞬のアジア : People and Nature in Harmony

管洋志 著
新潮社 2014 年

東南アジア、南アジアを中心にアジア 17 か国の生活を伝えるフォトエッセイ。著者は 30 年以上にわたって東南アジアの国々で撮影を続けた写真家。国ごと写真を紹介しており、それぞれ最初のページに訪問年とその国の位置・首都を示す地図を掲載している。

35. マララ : 教育のために立ち上がり、世界を変えた少女

マララ・ユスフザイ、パトリシア・マコーサック 著、道傳愛子 訳
岩崎書店 2014 年

女性が教育を受ける権利を訴えて数々の賞を受けたマララ・ユスフザイさんの手記。幼年期から、学校を経営する父の元で意欲的に学校に通い、女子教育を否定するタリバン勢力が台頭すると、パキスタンの状況を全世界に発信、タリバンから脅迫・銃撃された後も学校に通いながら教育の必要性和平和を訴え続けるマララの半生が綴られている。巻頭にはパキスタンと周辺国の地図、巻末にパキスタン独立後の出来事についての解説あり。

36. ต้นไม้ใกล้ตัว (タイ語) 身のまわりの木

ปรีดา ปัญญาจันทร์
แพรวเพื่อนเด็ก 1995 年

第 11 回野間国際絵本原画コンクール 1998 年奨励賞受賞作品。タイの人たちにとってたいへん身近な果物の木と、木の周りに集まる子どもたちが生き生きと描かれ、果物をテーマにした韻文詩が添えられている。タイ文字の独特な形が興味深い。

37. Terry's Raffles adventure (英語) テリーのラッフルズへの冒険

Kelly Chopard pictures by Patrick Yee
Landmark Books c1996 年

シンガポールにやってきたサーカスのトラのテリーと、チンパンジーのチンピーは、友だちを見つけるため、サーカスを抜け出して、ラッフルズホテル行きのバスにこっそり乗り込む。中華街やインド人居住区、そしてラッフルズホテルで、人々はテリーを見て逃げ回るが…。シンガポールの創作絵本。

38. बनको बिरालो (ネパール語・英語) ジャングルの大きな猫

text by Padmaja Gurung translated into Nepali by Vinaya Kasajoo illustrations by Shanta Hitang
Sunbird Pub. House c1998 年

「ジャングルの中に大きなネコがいます。それはいったい何でしょう？」と始まり、ネパール語と英語の併記でトラの特徴を綴る。白黒の絵で生き生きと描かれたトラの姿を見ながら、ネパール語に接することができる。ネコ科最大の動物トラは絶滅危惧種に指定されており、この本は WWF（世界自然保護基金）の援助で出版された。

39. Con chó, con mèo và anh chàng nghèo khổ (ベトナム語) 犬と猫の恩返し

tranh, Vũ Duy Nghĩa lời, Minh Quốc
Kim Đồng 2002 年

親孝行の貧しい水夫が、犬と猫と海へびの命を救い、竜宮に招かれる。水夫はそこでうつくしい玉を手に入れて裕福になるが、玉は盗まれてしまう。そこで、犬と猫が力を合わせて玉を取り戻しに行く。ベトナムの昔話絵本。

40. Tấm Cám (ベトナム語) タムとカム

tranh, Mai Long lời, Minh Quoc
Kim Dong 2004 年

ベトナムの昔話絵本。タムとカムという母違いの姉妹がいた。母親は血のつながった娘のカムばかりをかわいがり、継娘であるタムは1日中働かされる。ある日、仏の力で王宮の祭に出かけたタムは、帰り道に片方の靴を落としてしまう。王は靴の持ち主を妻にすると言うが…。世界に流布している「シンデレラ」の類話。ベトナムの昔話絵本。

国立国会図書館 国際子ども図書館
児童サービス課 児童サービス企画係
URL : <https://www.kodomo.go.jp/>